

# 第 114 回番組審議会議事録

(株) 中国コミュニケーションネットワーク

■ 開催日時 令和 5 年 8 月 24 日 (木) 午前 11 時

■ 開催場所 中国経済クラブ (中国新聞社 8 階)

■ 出席者

① 委員側

- ・ 出席委員 7 人  
木谷 健 (比治山学園理事長)  
中川 元彗 (浄土真宗本願寺派善正寺住職)  
中川 圭 (乳がん患者友の会きらら理事長)  
吉田 朋子 (和奏光夜実行委員会代表)  
向井 良 (弁護士)  
牛来 千鶴 (ソアラサービス代表取締役社長)  
片山 学 (中国新聞社文化担当部長)

② 会社側 3 人

社長兼放送局長	小見山 文男
営業担当	久保田 正明
制作担当	渡邊 康美

■ 議 題

- ・ 開会あいさつ
- ・ 番組試聴「HiFA 平和祈念 2023 広島国際ユースサッカー」
- ・ ご感想・ご意見
- ・ 訂正や苦情の報告と前回以降の業務報告
- ・ 質疑応答、その他

◇ 番組試聴「HiFA 平和祈念 2023 広島国際ユースサッカー」(2023 年 8 月 11 日放送)  
広島県のサッカーユース選手のレベルアップとともに世界的視野に立った強化を図り、国内外で活躍できる選手育成を目的に開催している大会の中継放送(2 時間 15 分)の一部を試聴します。パーソナリティーは住谷綾香です。

<番組に対する委員の意見・感想>

- ・ 解説者は情報をよく整理して喋っており、そんな話し方が実況中継中にできる開設者はかなりの手練れだと思った。パーソナリティーもサッカー、選手の知識が豊富で、安心して聞くことが出来た。
- ・ パーソナリティーがスポーツに詳しく、サッカー好きなので、よく調べている

と感じた。アナウンスが上手なこともあり、非常に聞きやすい番組だった。注目選手について、もっと掘り下げた紹介があってもいいのではないか。

- ・ ラジオでサッカー中継があることを初めて知った。聞き始めたら、会場の音が入っていて臨場感があり、パーソナリティーと解説者のやり取りから試合をイメージしやすいと感じた。
- ・ R C C (収録放送)とのタイアップ番組ということだが、テレビとラジオが連携して、それぞれで放送できることを初めて知った。しかし、ラジオの場合、リスナーにイメージしてもらうために、ひと手間かかることを実感した。
- ・ サッカー大会の合間に、平和学習があると聞いた。今回、ウズベキスタンから選手が参加していたが、ハーフタイムに平和学習の感想などが放送できたら良かったと考える。

◇ 訂正や苦情の報告と前回以降の業務報告

- ・ 訂正やリスナーから番組に関する苦情はありませんでした。
- ・ 国土交通省太田川事務所による「高瀬堰(たかせぜき)の放水」の緊急割込み放送が、7月9日(日)午前5時30分、午後2時30分にそれぞれありました。
- ・ 8月6日(日)、「平和記念式典」(1時間)を中継放送しました。

以上